

レッドデータブックにいがた

「レッドデータブックにいがた」作成の背景と目的

地球上に生命が誕生して以来、例えば恐竜のように、自然のプロセスの中で多くの種が生まれては消えてきましたが、今日、野生生物は様々な人間の活動によって、歴史上かつてないスピードで絶滅しています。

人間を含めた生物同士の関係は、大気・水・土壌・光などの自然環境を含めて複雑にからみ合いバランスを保っています。従って、突然の種の絶滅は、長い時間をかけて微妙なバランスを保ってきたこの関係に悪影響を及ぼすおそれがあります。ですから、種の絶滅を防ぐことは、全ての生物にとって重要なことであり、私たち人間の責務といえます。

種の絶滅を防ぐためには、まず、絶滅のおそれのある種を知る必要があります。

レッドデータブックは、絶滅のおそれのある種をリストアップしたもので、わが国では環境省などが国内レベルで、都道府県などが地域レベルで作成しています。新潟県では、平成13年3月「レッドデータブックにいがた」を発刊し、貴重な野生生物の保護を呼びかけています。

「レッドデータブックにいがた」選定種

カテゴリ - 分類群		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧類	絶滅危惧類	準絶滅危惧	地域 個体群	合計
動物	哺乳類	2		1	5	8		16
	鳥類		1	5	10	34	1	51
	爬虫類					1	2	3
	両生類			1	1	7		9
	淡水魚類	1		2	2	11	6	22
	昆虫類	5		32	19	72	19	147
	大型水生甲殻類					2		2
	陸・淡水産貝類			5	7	26	5	43
	プラナリア類				1		1	2
	小計	8	1	46		161		
植物	維管束植物	1	2	83	267	80	234	667
	小計	1	2	83	267	80	234	667
合計		9	3	129	312	241	268	962

絶滅 : 県内ではすでに絶滅したと考えられる種

ニホンカワウソ、ゼニタナゴ、ベッコウトンボ、ムジナモ

野生絶滅 : 飼育栽培下のみで存続している種

トキ、デンジソウ、ツルスゲ

絶滅危惧類 : 絶滅の危機に瀕している種

モリアブラコウモリ、イヌワシ、ハクバサンショウウオ、イバラトミヨ
タガメ、サドマイマイ、クマガイソウ

絶滅危惧類 : 絶滅の危険が増大している種

エチゴモグラ、ヒクイナ、トノサマガエル、ホトケドジョウ、ミヤマシ
ジミ、エチゴマイマイ、オニバス

準絶滅危惧 : 存在基盤が脆弱な種

地域個体群 : 希少な種、分布が局限・孤立している種など

レッドデータブックにいがた(A4版、口絵16ページ+467ページ)は、新潟県庁1F・行政情報センターのほか、各市町村の図書館や公民館で閲覧することができます。